

中学生の「税についての作文」

大川市教育長賞

身近で大切な税金

大川市立大川桐英中学校

二年 永島京佳

「きれいな校舎で勉強できてよかね！」
「快適やろ！」

親戚から言われた言葉です。令和二年四月一日、私が通っている大川桐英中学校は大川中学校と大川南中学校が統合してできました。新しく建てられたきれいな校舎、教室の机や椅子、黒板や掃除道具、実験道具やタブレット、快適に生活できるエアコンなど私たちが通う学校のすべてが新しく快適に学校生活を送ることができています。この費用はどこから支払われたのでしょうか。それは、「税金」です。

学校生活の中の「税金」を探してみました。私たちが毎日食べている「給食」の中に「税金」がありました。給食は給食費を払っているので「税金」は使っていないと思うかもしれませんが、私たちが給食費として払っているのは食材費だけで、光熱費や人件費などは「税金」が使われているそうです。また、原油価格や物価高騰のため、私たちが払っている給食費だけでは足りなくなり、給食費を増やすと、保護者の負担が増えてしまうので、足りなくなった分の給食費にも「税金」が使われているのです。このように、栄

養のバランスがとれた豊かで美味しい給食があり、健康で丈夫な体づくりができるのも「税金」のおかげなのです。

教科書にも「税金」が使われています。教科書の裏側に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と書いてあります。当たり前のように新学年が始まると毎回配布され、当たり前のように教科書を使って勉強できているのも、税金のおかげなのです。

私が支払う一番身近な税金は消費税だと思います。私は「どうして、少ないお小遣いの中から十パーセントも消費税を払わないといけないの!」と、消費税に対して良いイメージを持っていませんでした。しかし、私たちの一番身近な学校で、私たちがしっかりと学習できる環境を作るために、たくさんの「税金」が使われていることがわかって、私が払った消費税が学校のどこかで使われているのだと考えると、うれしく思えるようになりました。

「税金」は私たちが生活するためにとても大切なものです。国民の三大義務のひとつである「納税の義務」「税金」に感謝し、社会人になったらしっかりと納税したいと思います。

